

1.2. 産婦人科 臨床研修プログラム (必修科)

1. 研修目標

産科及び婦人科疾患の総合的な病態把握と基礎的な診療技術と専門知識の習得を目的とする。

2. 研修期間 4週～44週

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 産婦人科 藤原 清香
基幹病院 中部国際医療センター

4. 到達目標

A. 産科の臨床

- 1) 正常妊娠、分娩、褥婦の管理
- 2) 切迫流産、切迫早産の診断、治療
- 3) 妊婦、授乳婦の薬物療法
- 4) 産科検査
- 5) 産科手術
- 6) 産科麻酔
- 7) 産科出血
- 8) ハイリスク妊娠 (2年次)

B. 婦人科の臨床

- 1) 骨盤内の解剖
- 2) 視床下部－下垂体－卵巣の内分泌調整系の理解
- 3) 婦人科良性、悪性疾患の病態と治療法の理解
- 4) 周術期の全身管理
- 5) 婦人科手術 (開腹術、腔式手術、腹腔鏡下手術)
- 6) 難治性疾患や稀な疾患 (2年次)

5. 指導体制

研修医は、常に指導医のもとに行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置、および手術は担当指導医の看護下で行う。

救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。

指導医の誰かが当直をするときは、副直となり病棟での救急処置や時間外患者の救急処置について学ぶ。

6. 方略

1. 指導医とともに産科・婦人科の入院患者を受け持ち、診断、治療計画の立案、経過観察、退院支援を行う。
2. 指導医の外来診療に同席し、問診、身体診察、検査オーダー、診断、治療方針決定のプロセスを学ぶ。
3. 正常妊娠、分娩、褥婦の管理、切迫流産、切迫早産の診断・治療、妊婦・授乳婦の薬物療法、産科検査、産科手術、産科麻酔、産科出血について学ぶ。
4. 骨盤内の解剖、視床下部－下垂体－卵巣の内分泌調整系の理解、婦人科良性・悪性疾患の病態と治療

法の理解、周術期の全身管理、婦人科手術（開腹術、臍式手術、腹腔鏡下手術）について学ぶ。

5. 手術に積極的に参加し、手術の実際を体験する。
6. カンファレンスに積極的に参加し、症例発表やディスカッションを行う。

7. 評価

指導医は、自己評価結果を隨時点検し、研修医の到達目標を援助する。

8. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟	病棟	外来	手術	外来
午後	手術 カンファレンス	手術	外来	手術	外来
備考	産科、婦人科にかたよりなく診察しています。婦人科は良性疾患のみならず、悪性疾患も多数診療しています				